

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	○事故の再発防止に向けた職員間の検討は行っていたが口頭での周知であった。検討会議議事録の不備があった。	○口頭での周知に終わらず、事故の再発防止に向けた検討会議の開催と議事録の作成整備を行い検討結果を反映させたマニュアルの見直しを実施する	○事故が起きた場合は、口頭ではなく、その日で再発防止に向けた検討会議の実施と議事録の作成を行う。マニュアルへの反映を行い、職員への周知へ繋げる。	12 か月
2	35	①避難訓練を年2回の実施を行っているが夜間を想定した訓練であり、日中を想定した訓練がされていなかった ②業務継続計画は作成しているが、年2回の研修と訓練が年1回の実施となり、マニュアルの見直し不足。 ③年2回の感染症防止の検討委員会開催が1回の開催となっており職員への周知不足もあり。	①避難訓練の実施を日中想定1回・夜間想定1回とする。 ②業務計画の研修と訓練を年2回実施しマニュアルの見直しに反映させる。 ③感染症防止の検討委員会の年2回の開催と職員への周知を徹底する。	①②③を年間行事予定に組み込み、職員が予定表を常に確認できる場所に掲示する。 マニュアルの見直し、職員への周知も記載する。	12 か月
3	4	○運営推進会議へ年間を通してご家族様の参加が無く地域代表の参加も1回であった。	○ご家族様への声掛けを行いながら信頼関係を築き気軽に参加できる環境を作る。 ○他事業所・民生委員・自治会との繋がりを持ち、多様なサービスの質の向上に繋げる。	○一時的な声掛けでは無く、ご家族様へは面会時や定期的な連絡を行い信頼関係を築いて行く。訪問しやすい環境作り ○地域代表については、はじめに自治会・民生委員とのコンタクトを取り相談しながら徐々に人脈を広げて行くよう活動する。	12 か月
4	7	○身体拘束等適正化委員会への外部の知見者の参加が無い。	○他事業所・民生委員・自治会との繋がりを持ち、多様な視点での知識の向上に繋げる。	○初めに自治会・寄宮地区担当民生委員へあいさつ回りなどし、徐々に良好な関係作りをしていく中で会議への参加へのお力添えの声掛けも行っていく。 ○地域でのイベントへの参加交流	12 か月
5	8	○高齢者虐待防止委員会への外部の知見者の参加が無い。	○他事業所・民生委員・自治会との繋がりを持ち多様な視点での知識の向上に繋げる。	○初めに自治会・寄宮地区担当民生委員へあいさつ回りなどし、徐々に良好な関係作りをしていく中で会議への参加へのお力添えの声掛けも行っていく。 ○地域でのイベントへの参加交流。	12 か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。